

第647回番組審議会報告

2020年4月7日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員(書面参加)
島田智委員 太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員
細見良行委員(書面参加)

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 宮田常務 浜田取締役 高山取締役
小林ラジオ局長 松本編成局長 高山コンプライアンス室長
菅野番組審議会事務局長

◆議題

1. 委員長・副委員長の選出

今年度の委員総数は前年通り8人。委員長に佐藤卓己委員、副委員長に佐藤友美子委員が引き続き選出された。

2. 報告事項

- (1) 新型コロナウイルス問題について、ラジオとテレビの番組への影響と取り組みについて、小林ラジオ局長と松本編成局長がそれぞれ報告した。
- (2) ラジオ・テレビの4月改編の概要について、ラジオ局長、編成局長がそれぞれ報告した。
- (3) 放送番組の種別の公表制度に基づき、2019年度下期6か月分の番組種別ごとの放送時間を編成局長が報告した。あわせて同期間のCM総量及び4月以降の基本番組表についても報告した。

なお今回の番組審議会は、新型コロナウイルス感染防止のため、Web会議の形式で開催された。

◆議事の概要

2-(1) 新型コロナ問題「影響」と「取り組み」について

◆ラジオ

3月21日に開催予定だった「ラジオウォーク」など、集客イベントを中止。「ラジオウォーク」放送予定枠ではスタジオ番組を放送。イベント中止により出演する場がなくなった芸人・落語家・ミュージシャンのための番組を放送。『ヤングタウン日曜日』で「こんなときだからこその大電話祭」と題し、生放送で笑福亭鶴瓶さん他出演者とリスナーを電話でつないだ。

◆テレビ

当面、テレビ番組の収録を見合わせる。報道・情報番組については、万全の対策を施したうえで放送を継続。らいよんチャンが手洗い、うがいなどを啓発するスポットCMを放送。『ちちんぷいぷい』で、なまりがちな身体をほぐす体操と若手芸人による演芸ショーを随時放送。『らくごのお時間スペシャル』で子ども向けの落語の放送と配信。『よしもと新喜劇』を3月31日まで無料配信。

2- (2) ラジオ・テレビの4月改編について

◆ラジオ

4月改編は改編率28.7%。『MBSこども音楽コンクール』は日曜早朝から土曜夕方の17時45分に放送枠を移動する。『ばんぱく宣言 われら21世紀少年団』は月曜21時に移動。『プカプカ気分』は月曜深夜2時30分に移動する予定だったが、4月以降のプロ野球がない時期は、ナイター放送枠に『プカプカ気分』などナイターオフシーズンに放送していた番組やトライアル番組を編成する。

◆テレビ

4月改編は改編率14.5%。ゴールデン（19時～22時）の改編率が高くなっている。ドラマは、非常に注目されている日曜劇場『半沢直樹』を初め、ゴールデンの3本とも収録休止で放送延期の状態になっている。過去の名作ドラマの再放送などでつないでいくことになる。バラエティは、月曜日は19時から『有田プレビュールーム』『クイズ！THE違和感』『アイ・アム・冒険少年』『CDTVライブ！ライブ！』と、4番組とも新番組になるが開始日がいつになるかわからない状況。報道・情報番組は、MBS制作の『ちちんぷいぷい』『ミント！』『サタデープラス』をそれぞれ大幅にリニューアルする。木曜夜の新番組『バズ★ナイトナマー！』と『田村淳のコンテンツ Holic』はインターネットとのコラボ番組。配信によって、今まであまりテレビ番組を見なかった若者にスマホやタブレットで楽しんでもらい、全国に発信していきたい。

2- (3) 「放送番組の種別」の報告について

2019年度の下期は総放送時間が6万210分。報道番組1万4,660分（総放送時間の24.3%）、教育8,249分（同13.7%）、教養1万4,582分（同24.2%）、娯楽1万8,845分（同31.3%）、通販3,327分（同5.5%）、その他547分（同0.9%）。前年2018年度下期と大きな変化はない。

また、この半期のCM放送実績は1万142分35秒で、総放送時間に対する割合は16.8%。

以上